

省力化電動農機導入支援事業概要

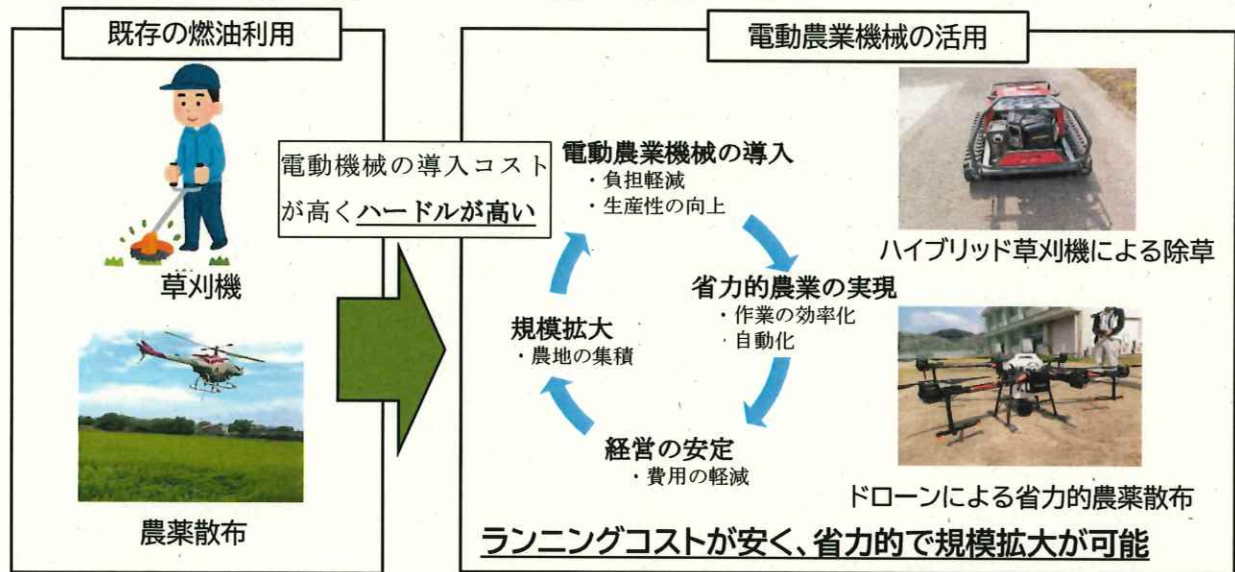
1 現状と課題

(1) 本県農業を取り巻く現状

- 世界的な資源価格の高騰による経営コストの上昇
- 農業者の減少に伴い、地域の担い手は経営規模の拡大が期待されている一方、労力的に限界がある
- 若手農業者は、新技術を活用して経営改善に取り組む意欲が高いが、投資余力が低い

(2) 課題

- 燃料効率の良い省力化電動農業機械・機器は、近年開発が進んでいるが初期導入コストは高く、普及が進んでいない
- 新たな技術の導入経験がなく、その効果の実感がわからない



2 事業概要

(1) 目的

新たな技術を扱う人材を育成し、作業の効率化及び経費の軽減を図る

(2) 事業主体(事業実施主体)・補助率

担い手育成総合支援協議会等(認定農業者・認定新規就農者) 補助率:1/2以内

(3) 内容

省力化電動農機(EV・ハイブリッド)、ICT 機器(情報通信技術)の導入を支援
(電動草刈り機、電動運搬車、モニタリングシステム、ドローン、アシストスーツ等)
事業費は1件当たり10万円以上であること

(4) 採択要件

農業経営改善計画または青年等就農計画の認定を受けていること
中間管理事業等を活用し、年度内に農地の拡大に取り組むこと
人・農地プランの中心経営体に位置付けられていること

(5) 事業実施期間 令和4年度

若者が夢を持ち快適で魅力ある愛媛農業の実現